

HuMA News Letter

○インドネシア・ジャワ島地震災害医療救援事業

2006年5月27日早朝、インドネシア・ジャワ島中部において発生したマグニチュード6.2の地震では、周辺地域に甚大な被害が生じ約6000人の死者が報告され、約67000人が負傷しました。今回HuMAでは、既に被災地で活動中のインドネシア・ジャカルタにあるM.H.Thamrin Healthcare Groupの医療チームと協力し、5月31日から6月末までの1ヶ月間に合計医師13名、看護師5名、調整員4名を現地へ派遣しました。今回の活動では、ジャパン・プラットフォームからの助成金のほかに、兵庫県災害医療センター、聖マリア病院、淀川キリスト教病院の3機関からの人材協力を得ることで多くの医療従事者を現地へ派遣することができました。

活動内容:

ジャワ島BantulにあるKlimasada病院での緊急医療支援活動、被災地での巡回診療及び周辺生活調査、総合病院(Sardjito病院、Bethesda病院)での整形外科手術などの技術協力、手術用資器材のドネーションを実施致しました。

ジャワ島 ジョグジャカルタ州・パントウル県

周辺被災状況



活動拠点のカリサダ病院: 写真①タムリン病院の名前と、HuMAの共同医療チームの旗が掲げられている ②病棟 ③④医師、看護師による診療中風景



⑤⑥周辺地域での巡回診療 ⑦立体駐車場を緊急病棟へ(Sardjito病院) ⑧整形外科手術用資器材のドネーション



○インドネシア・ジャワ島地震災害医療救援事業報告：調整員 藤井さやか

5月31日から6月19日まで、インドネシアミッションに、アドミ/ロジとして行かせて頂きました。前回2005年のスリランカミッションは最終チームでの派遣だった為、通訳や車、宿泊地など何から何まで既にアレンジされていました。今回は自分がアレンジする側になってみたいと思い、先遣隊からの派遣に初めて手を挙げました。実際経験してみて、ロジは本当にやる事がいっぱい、歴代ロジの方々にはなぜこれだけの業務をそつなくこなすことが出来たのだろうというのが率直な感想でした。通訳のアレンジでは、カウンターパートMH Thamarin HPより3人通訳が来る、と聞いていたら、実は3人も医師としてYogYaに来られたということで、急速専属の通訳を探さなければならなくなりました。この為、通訳不在日が発生してしまいましたが、チームのみなさんが通訳なしの日も全く不満を言わず温かく見守ってくださったことに感謝します。



今回の通訳は結局、行きの飛行機で知り合った元自衛隊の日本人の名刺を頼りに、連絡を取って通訳を紹介してもらったり、地元のインドネシア人青年が、HuMAが働いていた病院に近所のおばあさんを連れてきた際、日本語が話せると分かりその場で交渉したり、また、夜、ドライバーに電話をするつもりで間違えてドライバーのオーナーに電話してしまったり、その方が日本語を話せると判明して、通訳をその場でお願いしたり、と、偶然の連続で見つけることが出来ましたが、後日、現地JICA事務局やJMIに紹介してもらい、大学の掲示板で募集する、地元のコーディネーションセンターやUN Meetingで紹介してもらう等、色々簡単なやり方を教えて頂きました。勉強不足のロジ藤井でした。他にも、小さなロジ業務にばたばたしながらモバイルやミーティングに行き、夕飯のアレンジをすっかり忘れ、OPE後で夕食を楽しみに帰って来たメンバーに非常食を食べさせることになったり、HuMA Officeに活動報告の電話を入れるのを失念して心配させたり、と本当に失敗の連続で、自分の要領の悪さを実感した3週間でした。それでも、次は同じ間違いはしないように気をつけて、是非またいつかロジとして派遣に行かせて頂けたら、と思えるのは、どんな状況でも寛容に対応してくれた皆様の御陰です。そんな方々に感謝し、この人達の為にも一生懸命やりたいと思われ、今回のミッションはとても充実したものとして終わりました、本当に良いミッションとは、良い人間関係を持たたかどうかで決まるのだなと思いました。ありがとうございました。

最後に、インドネシアで7月にまた津波が起きた時、カウンターパートや通訳、運転手、仲良くなった病院のスタッフや患者さんの家族が、「HuMAの皆にまた会えるのかな？」とメールをくれました。今回あれだけNGOチームが氾濫していた現地で、自分達のミッションが自己満足でなく本当に役立ったのだと実感し、嬉しかったです。これからもJakarta やYogYakartaの方々と良い関係を持ち続けていくことが出来たらと思います。

ジャワ島地震緊急医療支援活動ご寄付・ご協力の御礼

ジャワ島災害医療支援活動への募金に御協力頂きまして誠にありがとうございました。7月末日迄に合計2,275,362円(指定1,284,362円)の御寄付を賜りました。

また、人材協力をしてくださいました兵庫県災害医療センター様、聖マリア病院様、淀川キリスト教病院様、整形外科用資器材を快く提供して下さいました日本ストライカー株式会社様、シンセス株式会社様、株式会社日本エム・ディ・エム様、スミス・アンド・ニュー オールソペディックス株式会社様に深くお礼を申し上げます。ジャパン・プラットフォームを通じ、JAL日本航空様には、日本～ジャカルタまでの航空運賃及び資器材の運賃を大幅に援助頂きました。皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

○国際災害看護研修Ⅱ

10月7日(土)～9日(月)の3日間、日本赤十字看護大学武蔵野キャンパスにて、国際災害看護研修Ⅱが開催されました。全国の看護師さん34名が参加され、天候にも恵まれ有意義な研修でした。



○国際保健医療学会

10月11日(水)～13日(金)長崎ブリックホール(長崎市)にて第47回日本熱帯医学会・第21回日本国際保健医療学会合同大会が開催されます。HuMAは11日の夕方、自由集会「ミャンマーにおけるマラリア対策」にて参加する予定です。

○第8回アジア太平洋災害医学会 Asia Pacific Conference on Disaster Medicine, APCDM

11月20日(月)～22日(水)の3日間、東京コンファレンスセンター(品川)にて第8回アジア太平洋災害医学会が開催されます。HuMAはNGOに関する発表と、展示を行います。今回ジャワ島ミッションでお世話になったタムリンメディカルチームより、理事長Dr.Radjak先生他2名が来日する予定です。

2006年9月末現在

ただいまの会員数:

293名(内賛助会員49名)

発行＝特定非営利活動法人災害人道医療支援会

連絡先＝サポート事務局 〒111-0051東京都台東区蔵前1-3-11大東紙ビル2F

TEL/FAX: 03-3866-8988 Email: info@huma.or.jp ホームページhttp://www.huma.or.jp